

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 廿日市教室

保護者等数(児童数) 22 回収数 20 割合 92 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16			4	確保して下さっているとします。	児童の人数と部屋の広さは適切だと思えます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		8		スタッフが少ないので、児童受け入れを制限しなければいけない日がある。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3	1	7	広いスペース・設備で安心しています。	肢体不自由児のご利用がないので、バリアフリーには対応していない。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	1		1	様子が良くわかり成長も感じられますこれから宜しく願い致します	保護者との相談を密にし、プログラム・支援計画を考えている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	1		2	色々な引き出しを持たれていて子ども自身も楽しんでいるようです。	固定化しないように児童の特性をみて、工夫していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	2	9	週末など色々なイベントを考えられているので、交流は難しいのではないのでしょうか。	イベントや
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2				契約時に説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	2		2	モニタリング・送迎時に詳しく意見や相談にのって貰っています。	1日の細かい成長も見逃さずお伝えすることを忘れず支援していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	3	1	1	電話・送迎・ノートなど、どれをとっても真剣に助言して載っています。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	10	8		個人情報があるので、中々難しい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3		4	教室内での少しの変化も電話して下さり、機転の利く判断をいつもされるので、こちらも安心して通わせて貰うことができます。	細かいことも逃さず見守り、即答できるように心がけていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1				送迎時や電話対応は大切にしてい
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2		2	ホームページ・ブログなど日々の様子を載せておられるので拝見させて載っています。	利用日が少ない児童の成長が分かるように配慮していく。
14 個人情報に十分注意しているか	14	3		3		教室外で話すのも厳禁厳守。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4	1	5		年2回の防災訓練・非常時対応の詳しいマニュアルはブログや文章でお知らせしている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			11	ブログで消防訓練などの様子が見られるので把握しております。	いつ災害が起きても焦らない状態で対応できるように、年2回訓練している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19			1	土日のイベントは楽しみで、今日はこぱん?と聞いてくるほどです。	個人にあった支援の方法を、日々考え進めている。
	18 事業所の支援に満足しているか	15	4		1	いろいろな工夫され、多くの経験の中成長出来ていることに満足しています。	個人にあった支援の方法を、日々考え進めている。

240 36 15 69

67%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 廿日市教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		使っていないものは片付ける。	全て目の中に入ること、集中が欠けてしまうので、種類を限定させる。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	同年代、同じ遊びをする児童と一緒に療育する。	定員に近づけられるよう、スタッフを増やしたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	朝礼やミーティングで情報共有。	話し合った事を次の成長段階に繋げていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	年1回アンケート調査をしている個別支援計画の時期にアセスメントを取る。	意見を共有し、今後の課題・改善に繋げる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		年1回実施。	同じ反省点が出ないように努力する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	本部にメール、電話で相談させてもらったり、相談支援員と状況の共有をする。	相談したことをスタッフで共有同じことをしない。常にスキルアップ。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	研修の内容、日時をスタッフで共有しスキルアップ。	必要な研修をピックアップして情報を共有する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		保護者の協力を密にし、スタッフ間で協議、作成している。	保護者との連携を強化し、質の高い支援計画を心掛ける。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		日頃からの相談や支援計画と一緒にアセスメントシートを渡す。	問題点の解決、個人の成長の目標にする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		スタッフのいろいろな引き出しを情報交換している。	いろいろな考えがあり、固定化を防ぐ。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		同じプログラムでも内容を変化させている。	いろいろな考えがあり、固定化を防ぐ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	利用の多い児童のプログラムが重ならないように配慮。	連続して来所する長期休暇には、普段とは違うプログラムを行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		個人の特性を踏まえて、集中できるようになることを目標に計画を作成。	児童の関係に配慮しつつ、個別活動と集団活動を作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼やミーティングで前日の問題点や1日の流れを共有。	朝礼で前日の申し送りを共有し、当日の担当決めをして一人一人の支援を確実なものにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	個別日報を元に問題点をその日のうちに話し合う。	申し送りの時間をしっかり取り、次の課題を決める。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		個別日報を付けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		ケース会議は常に行っている。	成長に合わせてモニタリング・アセスメントは見直していく。細かい変化を見つける。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	4	スタッフ間で意見を出し合う。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		全員が児童を理解しているので誰でも参加するようにしている。	管理者だけでなく、全スタッフが参加し、意見交換の場を設ける。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		コロナが落ち着き、送迎時にモニタリングさせてもらっている。	学校のお迎えの時、1日の様子を聞き、教室で共有する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	保護者に医師の診断書を提出してもらい、内容も確認している。	保護者や病院との連携を密にし、スタッフで対応をしっかり身に付ける。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	送迎時や日程を決めて、定期的 にモニタリングをしている。	就学前には必ず連携を取り、児童の特性を理解したうえで、療育できるようにしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6	現在、移行する児童がおらず、これからの検討事項とする。	情報共有を求められれば、日頃の様子、支援計画を共有する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	モニタリングを定期的に行っている。	コロナが落ち着き、情報交換、連携が可能になったので、支援の内容を密にする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	考えていない。	個人情報の関係で難しいと考える。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6	連絡は常に取っている。	利用中の児童に合ったものには、積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		児童の利用時の様子を送迎時などに伝えるようにしている。	保護者からの相談は送迎時に伝えるようにしているが、十分ではないので、時間を設けられるようにする。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		その時、その時の対応のやり方を一緒に考える。	スタッフも一つだけの方法ではなく、いろいろな方向から支援できるように、スキルアップしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に十分な見学を行ったうえで、説明を行っている。	わからないことが発生した時は相談してもらうよう説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		専門機関とも連携し、適切な助言を行えるようにしている。	保護者からの相談は送迎時だけでは充分伝えられないので、時間を設けられるようにする。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	個人情報面で気を付ける。	年に1回でも様子を見てもらえる機会を作る。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		ノート以外に、相談は連携する。	1つでも改善・成長に繋がられるように協力し、保護者の相談を解決できるよう、努力する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	ブログで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6		教室内のケース会議のみ。	教室以外で話すことは厳禁。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	絵カード、筆談など視覚情報を共有する。	スケジュールボードを作り、次への行動への時間短縮に役立てて、できることを増やしていく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	なかなか進んでいない。	地域交流に積極的に参加できるものがあるかを、春と秋に、基幹支援センターに問い合わせている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	文面を作り、保護者に周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年2回、行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		毎月研修。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		虐待チェックリストを教室内に張り出し、1日の始まり、終わりの確認を定着する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		全員のチェックリストを張り出している。	保護者に医師の診断書を提出してもらい、スタッフで共有。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ファイルを身近に置き、共有する。	小さなことでも事例にあげ、細かくチェックするため、ミーティングで話し合う。	